

「プログラミング実習 II」講義案内（2024 年度春学期）

（受講対象者：情報工学課程 2 年生）

■ 本演習の目的

- ・ C 言語によるプログラミングの基礎を習得する。

■ 演習の進め方

- ・ 下記スケジュールで教科書に沿って学習し、別途指定する課題の結果のレポート提出を行う。
- ・ 各回のレポートは2種類があります。
 - 当日レポート： 課題は演習日に公表され、演習時間終了までに提出する。
 - 宿題レポート： 原則として次回の演習日までに提出する。
- ・ 当日レポート、宿題レポートをすべて終えた学生のために、応用課題を用意している。

■ スケジュール（スケジュールの都合などで変更されることがある）

- 第 1 週： 演習の概要説明，教科書第 3 章「変数と式」
- 第 2 週： 教科書第 4 章「制御の流れ」(1)
- 第 3 週： 教科書第 4 章「制御の流れ」(2)
- 第 4 週： 教科書第 5 章「関数」(1)
- 第 5 週： 教科書第 5 章「関数」(2)
- 第 6 週： 教科書第 6 章「配列」(1)
- 第 7 週： 教科書第 6 章「配列」(2)
- 第 8 週： 教科書第 7 章「文字列」
- 第 9 週： 教科書第 8 章「ポインタ」
- 第 10 週： 第 1 回中間試験および復習
- 第 11 週： 教科書第 9 章「構造体」
- 第 12 週： 教科書第 10 章「ファイル」，乱数
- 第 13 週： 総合演習
- 第 14 週： 第 2 回中間試験および復習

■ 教科書

内田智史 編著「C 言語によるプログラミング 基礎編 **第3版**」(2020 年出版)
オーム社，ISBN 978-4-274-22606-9，2,310 円(税込)

(注) 教科書は必ず**事前に購入し，第 1 回目の演習から持参**すること。

旧カリキュラム生のうち第 2 版のみを所有する再履修者は授業担当者に相談すること。

■ 講義ホームページ

- ・ レポートの提出や講義資料の配布等は下記の URL を通じて行う。

<https://cs.kwansei.ac.jp/prog2/>

■ 成績評価方法・基準（予定）

- ・ 「プログラミング実習 II」は実習科目であり、実習に出席すること自体が重要です。
- ・ 当日課題、宿題課題をすべて提出することが単位取得のための必要条件となります。提出遅れは減点の可能性があります。期限よりも完成版の提出を優先して下さい。
- ・ 提出物に不備がある場合は再提出を指示されることがあります。この場合、再提出がなければ単位取得が不可となることがあります。
- ・ プログラム力(と成績)の向上のため、オプション課題(「*」印つき)への取り組みを推奨します。

- ・ 以下の試験を実施します（基本的な問題を出題）。

中間試験(授業時間内, 2 回): 実技試験(PC 上でプログラムを作成)

期末試験(定期試験期間): 筆記試験

- ・ 評価法

- 中間試験(2 回)・期末試験の採点結果により「合格」または「不合格」を決定します。
- 「合格」の場合、試験の得点と平常点を基に、60～100 点の間で最終成績を算出します。
- 「不合格」の場合は、試験の得点を基に最終成績を算出します。
- オプション課題および応用課題に対しては、適宜加点を行います。
- 欠席・遅刻などに対して 1 回あたり最大 5 点を減点します。

試験で「合格」と判定されても、欠席の減点により「不合格」となってしまうことがあります。

- ・ 本実習は C 言語によるプログラミングを取得する目的で実施しているため、他人のプログラムのコピーは禁止とします。発覚した場合、コピーした者もコピーさせた者も本演習の成績評価を 0 点(不可)とします。

■ その他

- ・ C 言語でのプログラム作成に Visual Studio Code および Cygwin を使用する予定です。個人の PC を持ち込んで課題に取り組むことも推奨します。インストール等については実習のホームページを参照してください。
- ・ 各クラスで担当教員と 4 名程度の TA が指導を行います。が、自力でプログラムを作成することが重要であるため、答えを教えることはありません。本実習で問題が解けない場合、多くは教科書を読んではないことが原因となっているため、質問をする前に教科書を必ず読み込んで下さい。